

とっとり 緑推だより

NO.28

2011.8発行

社団法人 鳥取県緑化推進委員会

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地鳥取県農林水産部森林・林業総室

TEL 0857-26-7416 FAX 0857-26-8192

E-mail:info@tottori-green.or.jp URL:<http://www.tottori-green.or.jp>

■会員の現況平成23年1月末現在 ●正会員115名 ●賛助会員77名 ●特別会員1名

理事長就任の挨拶



鳥取県議会議長 伊藤美都夫

平成23年5月に鳥取県議会議長に就任し、これに伴いまして本委員会の理事長に就任いたしました。

皆様方には、日頃から本県の緑化推進や緑の募金活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本年3月11日に東日本大震災が発生し、東北3県を中心に多くの方がお亡くなりになられました。また、福島第1原子力発電所の事故は多くの避難者を発生させ、大変な事態となっております。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。国民が一体となり、一日も早い復興が達成されますよう願っております。

さて、本委員会は、戦後の荒廃した山に「緑の募金」を通して緑を取り戻そうと昭和25年に創設され、今日まで、県民の皆様の協力を得ながら緑の募金事業を継続しております。皆様方には、日頃より緑の募金や本県の緑化の推進にご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

森林は、水源のかん養や空気の浄化、県土の保全など、県民生活に欠かせない公益的機能を有しており、森林整備の重要性が指摘されているところです。

一方で、木材価格の低迷により林業は衰退し、手入れの遅れた森林が増加して、森林の持つ公益的機能が発揮されるか懸念されています。

森林からの恩恵は県民全体が享受するものであり、県民みんなで森林を守り育てていくことが大切です。そのためには、県産材の積極的な活用や、森林ボランティア活動を支援するなどの継続的な取組みが必要です。

さて、本年10月には、鳥取市にて「第31回全国豊かな海づくり大会」が開催されます。豊かな森は海に恵みをもたらすとされておりますが、この大会を契機に漁業関係者の間でも森に対する関心が高まり、森を守り育てる取り組みが広がっているところです。

また平成25年春には、とっとり花回廊を中心に「第64回全国植樹祭」が開催されます。48年ぶりに鳥取県で開催される全国植樹祭は、本県の森づくりや緑化運動の取り組みを全国に発信する絶好の機会であり、関係者の皆様により着実に準備が進んでいるところです。

県民の皆様には、様々な機会を通じて、緑化に対する理解を深めていただきますとともに、緑の募金をはじめ各種の緑化推進事業を実施しております本委員会へのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

■ 平成23年度 緑の募金運動

募金運動期間 春期 平成23年3月25日(金)～5月31日(火)

秋期 平成23年9月 1日(木)～10月31日(月)

国土緑化運動標語 “植樹から めばえる命 育む未来”

一人でも多くの皆様の温かいご協力をお願いします。

「緑の募金」は森林の整備や緑化活動を支援し、きれいな水環境、災害の防止、きれいな空気、温暖化の防止など環境改善に役立っています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくるため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。

平成23年度春期緑の募金の結果

初めに、本年は3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、東北地方の太平洋岸を中心に国内史上最大の被害が生じました。この震災により亡くなられた方のご冥福を祈るとともに、被害に遭われた方々関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

今年度の緑の募金運動は、この地震による被災対応のため国民全体が救援活動や義援金等に取り組んでいる最中と重り、国内のイベント自粛運動の広がりともあいまって低調な出だしとなりました。県緑化推進委員会でも、予定しておりましたイオン鳥取北店及びイオン日吉津ショッピングセンターでの街頭募金を急遽中止しました。

しかし、時間の経過とともに、県民の皆様方からの募金への協力も広がり、以下のような春期の募金結果を得ることが出来ました。

平成23年度春期募金結果 街頭募金96万円、学校募金125万円、
家庭募金1,583万円、企業募金36万円、
職場募金262万円、その他募金54万円、
合計2,156万円、対前年比96.4%

頂きました淨財は外部有識者による「緑の募金等運営協議会」による審査等を経た上で、緑化事業の推進に大切に使わせていただき、皆様方の居住環境の改善等に役立させていただきます。ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

引き続き秋期募金運動がありますので、今年度の目標額2,500万円が達成されますよう、皆様のご協力をお願いします。



■ 第15回通常総会の開催

とき 平成23年2月18日（金）
ところ 白兎会館「らいちょうの間」

第15回通常総会を、正会員114名のうち100名（出席39名、委任状61名）の参加を得て開催しました。

総会は小谷理事長の挨拶に続いて、来賓の藤井副知事から祝辞を頂き、その後、議長に造林公社専務理事の寺坂安雄さんを選出し、議事録署名人に団体会員で智頭町森林組合長の澤米由巳さん、個人会員の竹内功次さんを選任し、議事に入りました。

第1号議案「平成22年度事業報告及び収支決算について」報告し、監査結果を門脇敏夫監事から報告していただき、質疑等のあと1号議案は議案どおり承認され、続いて第2号議案「諸規程の一部変更について」、第3号議案「要綱等の一部変更に係る委任について」は質疑等はなく承認されました。第4号議案「平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）について」説明し、質疑等のあと承認されました。続いて第5号議案「会員の入会について」説明し、了解された後第6号議案「任期満了に伴う役員の選任について」審議され、次の役員の方々が決定しました。

緑の募金等の運営につきましては、外部有識者等の意見をお聞きしながら、一層効率的かつ適正な事業の執行に努めて参りますので、皆様方の温かいご理解、ご協力をよろしくお願いします。

社団法人鳥取県緑化推進委員会



役員の皆様（平成23年7月7日現在）

役員	氏名	所属役職名	役員	氏名	所属役職名
理事長	伊藤美都夫	県議会議長	理事	藤川 昭夫	日本海テレビジョン(株) 代表取締役社長
副理事長	鹿田 道夫	県農林水産部長	理事	野津 一成	鳥取県建設業協会会长
理事	景山 一夫	県漁業協同組合代表理事組合長	理事	藤原 真澄	鳥取県山林樹苗協同組合理事長
理事	田中 朝子	鳥取県連合婦人会会长	理事	入澤 宏	鳥取県森林組合連合会代表理事 会長
理事	竹内 功	鳥取県市長会会长	理事	吉岡 利固	(株)新日本海新聞代表取締役社主
理事	石 操	鳥取県町村会会长	監事	門脇 敏夫	鳥取県造園建設業協会会长
理事	坂根 國之	鳥取県農業協同組合中央会会长	監事	大家 繁博	鳥取県椎茸生産組合連合会会长

（所属代表等の交替で、総会時より一部役員の変更有。）

■ 第57回鳥取県植樹祭の開催

第57回鳥取県植樹祭が4月29日（金）鳥取県、智頭町及び本委員会の主催により、八頭郡智頭町「智頭町民グランド」において、「育て大きくこの苗木 森の恵みで明るい未来」を大会テーマとして開催されました。

式典の始まるまでの間、智頭小学校みどりの少年団と当委員会小谷理事長による「緑の募金」活動が実施されました。また、本年秋に開催される「全国豊かな海づくり大会」のマスコットキャラクター「ととリン」も応援に駆けつけてくれて、少年団も大喜びでした。この後、式典に入る前に今回の東日本大震災で亡くなられた方への黙祷を参加者全員で行い、続いて被災地に救援資材として送る「組手什」の出発式が行われました。

式典では、最初にオープニングアトラクションとしてチーム満天星による「よさこい踊り」が披露され、参加者から盛大な拍手が送られました。

続いて開会が宣言され、みどりの少年団の皆さんの元気な入場行進と少年団の紹介、主催者挨拶、来賓紹介の後、緑化功労者等の表彰があり、緑化功労者に元鳥取県東部森林組合長の石谷謙二さん、智頭町森林組合長の澤米由己さん、三朝町の讀郷愛林協会（田栗栄一会長）が、第57回鳥取県植樹祭テーマ募集最優秀賞に鳥取市の坂本淨さん、同優秀賞に智頭町の国岡秀憲さんが受賞されました。続いて、「森林みどりへの想い」として、智頭町立山郷小学校みどりの少年団岡田尚之さん（6年）、智頭町木の宿場実行委員会綾木章太郎委員長、賀露おやじの会藤田充会長の発表が行われました。この後、記念植樹が行われ代表植樹として、クスノキ、クロガネモチの植樹が行われた後、場所を「こもれびの森」に移して、一般参加者による記念植樹が行われ、カンツバキ、ナナカマドなど4種、約1,000本の苗木が植栽されました。

昼食時にはアトラクションとして、鳥取県立智頭農林高等学校生徒による麒麟獅子舞と智頭町民コーラスによるコーラスが行われ参加者を楽しませました。また、地元特産物の販売も行われ多くの人で賑わっていました。(社)鳥取県緑化推進委員会では記念品として苗木（ヤマボウシ、マユミ）600本の無料配布を行い好評を得ました。また、智頭町では、こもれびの森散策、慶長杉見学、曲げわっぱ作り体験、木工教室を行い多くの人が参加していました。



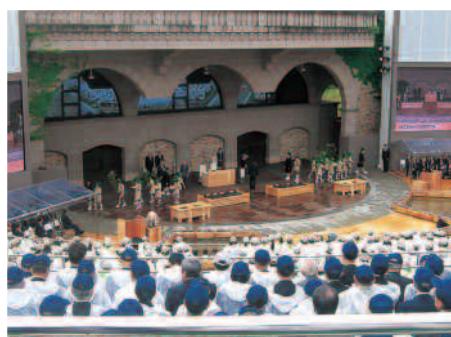
の讀郷愛林協会（田栗栄一会長）が、第57回鳥取県植樹祭テーマ募集最優秀賞に鳥取市の坂本淨さん、同優秀賞に智頭町の国岡秀憲さんが受賞されました。続いて、「森林みどりへの想い」として、智頭町立山郷小学校みどりの少年団岡田尚之さん（6年）、智頭町木の宿場実行委員会綾木章太郎委員長、賀露おやじの会藤田充会長の発表が行われました。この後、記念植樹が行われ代表植樹として、クスノキ、クロガネモチの植樹が行われた後、場所を「こもれびの森」に移して、一般参加者による記念植樹が行われ、カンツバキ、ナナカマドなど4種、約1,000本の苗木が植栽されました。



■ 第62回全国植樹祭が和歌山県で開催される

第62回全国植樹祭が平成23年5月22日（日）に和歌山県田辺市「新庄総合公園」を会場に、「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」を大会テーマとして、天皇、皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地の林業関係者や地元関係者約3,500人が参加して盛大に開催されました。

式典は、あいにくの雨の中、プロローグとして奥熊太鼓、熊野の修験者による「はじまりの響き」、りら創造芸術高等専修学校生徒・秋津川炭琴サークルによる「木の国創世神話」が披露され、続いてみどりの少年団による「生まれる命」として都道府県の木が入場その後、映像紹介「世界遺産 高野・熊野の森」、続いて「今を生きる私たちの元気な歌」、



感謝状贈呈の後、天皇皇后両陛下がご到着され、式典が始まりました。

開会の言葉に続き三旗掲揚、坂本冬美さん等による国歌斎唱、続いて今回は、東日本大震災に関連して黙祷が実施され、主催者挨拶、表彰等が行われ、竹ポット苗の披露、その後、天皇皇后両陛下によるお手植え（3種ずつ、6種）及びお手掻き（2種ずつ、4種）が行われました。

その後、愛樹への誓いや大会宣言等と続き、終わりに次回開催県の山口県知事に大会シンボルを引き継いで一連の式典が終了しました。

■ 緑の募金贈呈式

3月7日 県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。コカコーラウエストスポーツパーク様（贈呈者：川口久光園長、随行：徳田義和次長）では、10月3日（水）にコカコーラウエストスポーツパークで開催した「緑の感謝祭」の収益金の一部を緑の普及・啓発運動支援のため「緑の募金」として、この度当委員会小谷茂理事長（県議会議長）にご寄付を頂いたものです。ありがとうございました。



川口久光園長より小谷茂理事長へ

6月3日 県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。千代三洋工業株式会社様（贈呈者：前田賢太郎社員代表、西尾孝博代表取締役社長、随行：山本義弘総合企画部長）では、社内で積極的に職場募金を呼びかけ、集まった净財を「緑の募金」として、この度当委員会伊藤美都夫理事長（県議会議長）にご寄付を頂いたものです。ありがとうございました。



前田賢太郎社員代表より伊藤美都夫理事長へ、
(手前) 西尾孝博代表取締役社長

6月20日 農林水産部長室で「緑の募金」贈呈式が行われました。鳥取いなばライオンズクラブ様（贈呈者：永見会長、山根幹事、谷尾環境保全委員会担当理事、同野村委員長）では、鳥取いなばライオンズクラブの6月16日の例会（月2回開催）で会員に「緑の募金」を募り、集まった净財を「緑の募金」として、この度当委員会鹿田副理事長（農林水産部長）にご寄付いただいたものです。ありがとうございました。



永見会長より鹿田副理事長へ

■ 緑の募金事業について

境港昭和北緑地における「千年の森づくり事業」について

境港美保ライオンズクラブ会長 松 本 雅 人

境港昭和北緑地は、北に島根半島、東に美保湾を挟んで大山を一望できる境港で一番風光明媚な場所であり、DBSクルーズの利用客にとっても、一番初めに目にすることから、その光景如何では鳥取県の印象を大きく左右する出船、入船の要所であります。

そこで、境港美保ライオンズクラブは、平成20年より、境港昭和北緑地のアダプト事業者として、除草や清掃などの管理業務のほか市民が花を楽しめるよう桜やツツジの植付け、また、鎮守の森づくりを目指してクスやカシ、シイなどを植樹する「千年の森づくり事業」を実施しています。

昨年は、境港美保ライオンズクラブ創立35周年を記念し、クス、カシ、シイ500本の苗木を植樹しましたが、昨夏の猛暑と年末の豪雪で枯れるものも見受けられ、しっかり根付くのか心配しています。今回は、遊歩道沿いがきれいな桜並木になるよう桜を中心に植樹を実施しました。さらに来年は、「冬のソナタ」で有名になったメタセコイア（アケボノ杉）の並木づくりを計画しています。

これからも私たちは、境港北緑地が外国人観光客や市民の皆さんのお憩いの場として幅広く利用されるよう念願しながら、漁業基地境港の子供たちへのメッセージとして「森は海の恋人」という意識を伝えてまいりたいと考えております。



みささ村地域協議会の取組み ~映画「恋谷橋」から生まれた地域の賑わい創出の取組み~

県内有数の温泉地である三朝温泉を中心とした『みささ村地域協議会』は、これまで地域の景観を整備し、来訪される観光客を歓迎するため、プランターを利用した景観整備に取り組んできました。昨年も温泉の玄関口である『大瀬歩危（ボーキ）』に、ウラン残土を焼却して作成したレンガ2万個を用いて「三朝キュリー公園」を整備したところであります。

三朝温泉では、メディアへの露出も多く、韓国のドラマ「アテナ」のロケ地になったほか、映画「恋谷橋」の撮影が行われたところです。映画の内容もさることながら「恋谷橋」という名前は、幸せを連想させる言葉であり、地域の賑わいの拠点としての可能性を秘めており、このほど「緑の募金事業」の助成を受け、地域住民が主体となって植樹を行ったところです。

植栽品種も役員等で検討を重ねた結果、「オタフクナンテン」（花言葉：私の愛はますばかり）とイメージに



即したものにしました。このような住民サイドによる景観保全の取り組みは、地域住民の環境保全意識の高揚を図るだけでなく、三朝温泉観光協会が同場所に緑結びのオブジェを制作する等、相乗的な取り組みとなっています。今後この緑化推進活動が、地域全体に広がり地域活動の礎となるよう継続的な取り組みを行っていきたいと思います。



学校環境緑化モデル事業完成式 ローソン緑の募金を活用して

子ども達に環境教育と憩いの場が完成しました。

4月26日、鳥取市立用瀬小学校（田中精夫校長）で学校環境緑化モデル事業の完成式が行われました。

学校環境緑化モデル事業は、（社）国土緑化推進機構の「緑と水の森林基金」のうち、「ローソン緑の募金」部分を財源とした助成事業で、各県の緑化推進委員会を通じて全国50の小学校に助成がなされるものです。

平成22年度は県内で鳥取市立用瀬小学校が1校助成決定を受け、事業に取り組んでいましたが、このほど事業が完成し、6年生児童26人、学校関係者、鳥取市用瀬支所担当者、保護者代表、ローソン関係者等が出席し、完成式が行われました。

用瀬小学校では校舎前庭に池が創られていましたが、危険な状況となっていたため、今回の事業を「用瀬小学校お茶の町再生事業」として池を無くし、茶園を中心とする中庭に整備されました。

整備の目的は、用瀬は江戸時代からお茶の産地として知られていたことから、お茶を中心ミカンの木やスマモの木、グミの木を植え、生徒達が歴史や文化を意識しながら、地域住民とも交流できる場所を造ることで、緑の環境が整ったことから生徒達へのよい影響が期待されます。



平成23年度の助成事業・交付金事業

事業区分	事業内容	助成対象者	助成額
緑の募金事業	森林づくりの促進	植林、下刈り等の森林の整備森林での林業体験 等	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部等 5万円以上50万円以内
	ボランティア活動の支援	森林ボランティア団体が森林整備活動を行うための経費の一部を助成する。	森林ボランティア団体 当該年度の予算の範囲内
	地域緑化の推進	地域の緑化及び地区住民の緑化意識の高揚を図り、緑づくりを促進するためのイベント、講習会等の開催	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部等 5万円以上20万円以内
	みどりの少年団活動推進	通常の活動に加えて実施する自然・森林・緑に関する学習活動、野外活動、奉仕活動	みどりの少年団 5万円以上10万円以内
	学校緑化推進事業	学校林等を活用した活動、学校林の活用環境整備 森林・緑に関する学習活動	学校、学校教育を支援する団体等 5万円以上20万円以内 (委託料は助成対象事業費の50%以内とする。)
	国際緑化等の協力	樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動等	市町村、各種団体等 20万円以内
	交付金事業(家庭募金等の65%を限度に還元)	樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動等	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部等 市町村の決定額の範囲内
森緑事林と業基水金の	青少年・民間活動グループ育成	森林・緑化に関する各種イベントやキャンペーンの実施	市町村、民間団体、緑化推進委員会支部等 5万円・10万円・15万円・20万円の定額

■ 平成24年用国土緑化運動・育樹運動の標語を募集しています

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般国民の緑化思想の高揚を図るため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集しています。

標語の内容：簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであり、創作に限る。

応募方法：ハガキに住所、氏名、職業（学校）、標語を記載して応募する。

締め切り：平成23年9月30日（金）

その他：入賞作品の著作権は、公益社団法人国土緑化推進機構に帰属する。

国土緑化運動及び植樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて一部修正を加えることがある。

応募先：社団法人鳥取県緑化推進委員会

よろしくお願いします

4月より書記としてお世話になつてあります、堂園理恵子です。

初めてのことばかりで戸惑いの毎日ですが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

第64回全国植樹祭に向けて、みどりの少年団の育成等の業務を担当することになりました上田由美です。

慣れないことばかりですが、精一杯務めていこうと思っています。
どうぞよろしくお願いします。

会員募集のお願い

社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された団体です。

本委員会の組織運営は、正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先：〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

（鳥取県農林水産部森林・林業総室内）

（社）鳥取県緑化推進委員会

T E L:0857-26-7416 FAX:0857-26-8192

URL : <http://www.tottori-green.or.jp>